



救急車には納車後もいろいろなドラマが巡ってきます。そして、長年保有していると以下のようなことも起きます。

- ①仕様を変更して新たな使い方を始めたい。
- ②中古の救急車を受領したけれど、器材が設置出来ない
ので、取付金具を作り変えたい。
- ③架装部位が壊れてしまったがメーカーで直して貰えない。
- ④救急車だけ購入したので機器を追加工事したい。

弊社では、追加改造や修理等も承っておりますので、救急車に関わるお困りごとがありましたら、メーカー、車種を問わず、ご相談下さい。

連絡先 : 03-3832-2204 (株)赤尾・特需部・救急車両改修担当

付帯事業「救急車代車サービス」→ <https://akao-co.com/products/3117/>

サイレン音量正常化 改造

2024.05.23



当WEBでは初登場！E26型PARAMEDIC（初期型）です。

サイレン音がどうも小さいという相談。確かに、私が街中ですれ違った時も殆ど聞こえず明らかに変な感じ。音量を測定すると規定値ギリギリな上、運転室内には共振音が発生しておりました。

< BEFORE > →

左のスピーカー →



左図はバンパーの内側にある、左のサイレンスピーカーです。スピーカー自体がかなり下を向いていますね。



スピーカーを真正面に向け変えた他に、小細工を加えてあります。



なんと、ノーマルでMax99.9db !
かなり改善しました。

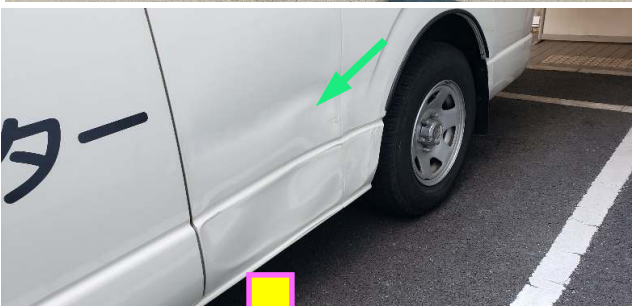
※ 現行のE26 PARAMEDICは既に改善されているようです。全てのPARAMEDICに必要な改造ではありません。



こちらHIMEDIC-IV型は、板金修理での入庫です。

大した破損では無いのですが、「救急車の・・・」というだけで修理対応を断られるそうで、最近こういうパターンの相談が少なくありません。

困り果てた挙句に最後の砦のように弊社に電話されてきた様子が電話口から伝わって来ました。



う～ん、ちょっと嫌なところに差し掛かっていますね。幸いに強い入力は無く、ホイールへのダメージはありませんでした。

年末が近いこともありましてので連絡頂いてから、10日程度の短期間で、スピード対応させて頂きました。ついでにスタッドレス・タイヤへの交換も行いました。



走行距離も多い車両なので、修理にあまりお金を掛けたくないというご要望に沿って修理させて頂きました。



今回もまた懐かしい救急車です。二代目HIMEDIC VCH32Sロングホイールベースによる乗り心地と4WSに、V6エンジンの高出力。乗り心地が良く、機動性も高い救急車です。架装オプションも豊富にラインアップされVCHの最終モデルでは現在のLED赤色灯の原型がオプション設定されておりました。

この車両もそのLED赤色点滅灯が装着された個体です。それ以外の特徴からも、見る人が見ればどこの車だったか、お判りです。では、BEFORE → AFTERを見てみましょう。

BEFORE

運転席座面が殆ど原型を留めて居ませんでした。これでは幾ら車が素晴らしくても、救急車に乗りこむ度にテンションダウンしますね。



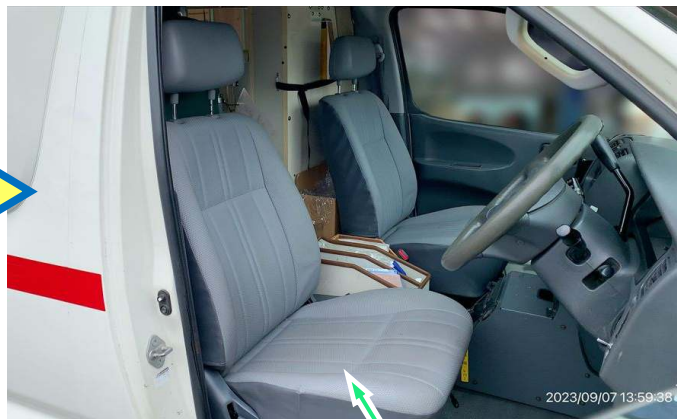
取り外した座席

中身が出ちゃってます



AFTER

今更お金を掛けても・・・という意向もあり、程度の良い中古の座席を安価に取り寄せて換装しました。



運転席・助手席共に換装

この車両も何故か加湿流量計が外されていて、酸素吸入すら出来ない状態。

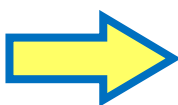


外されていた加湿流量計

川重型マニホールドを設置します。



今回、使用した川重マニホールドと製作金具に交換



中古救急車への追加改造

2023.0905



今回は少し懐かしい救急車、E50 PARAMEDICですね。1998年のデビュー当時、初めて見た時は驚いたものです。

今回はこの車両で新たな事業を興される方からの要望にお応えさせて頂きました。

BEFORE → AFTERを見てみましょう

BEFORE

加湿流量計が無く酸素投与も出来ない状態



AFTER

使用予定の呼吸器に合わせ、川重型マニホールドを装着
院内用の呼吸器接続には、川重が必須です。



ついでに減圧弁に接続する高圧配管も川重型に変更



運転席後部の収納庫が運転姿勢に影響するとのこと

綺麗に撤去しました。



既存のトレイ類



心電図モニターと呼吸器の取付金具を新規製作しつつ
既存トレイを上手く利用しながら設置しました。



ラピッドカーの室内サイレン透過音 劇的低減改造

2023.04.04



こちらはECMOカーついでに別件ご相談で来たもの。
使用中のラピッドカーの室内サイレン音がとにかくうるさくて
走行中の会話が成り立たないとのこと。

購入元などの他、どこに問い合わせをしても、
「室内音量を下げることは出来ません」と断られたそうで、
何か良い方法はないか？とのことでした。

「え？ 出来ますよ」



このタイプの散光式に組み込まれたサイレンは、
医療スタッフの頭上でサイレンが鳴っている訳です。
サイレン音を反射させて前側に押し出す仕組みですが、
音源自体は、真下に向かっています。

・・・そりゃ、うるさいわな。



既存スピーカーは予備として残したまま、車体で一番防音が効いている場所へ新たにサイレンを増設し、スイッチを追加して切換え式にしました。

その他にも小細工を加えて、これでもかというところまで室内サイレン音の低減加工をします。

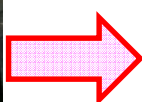
音が抜けやすいよう、Frバンパーにバルカン砲のごとく穴を追加してあります。

外の音量は、90dbを維持したまま、室内のサイレン音は体感でも劇的に低減しました。実測は下図の通りです。

(※効果には車両の個体差もあります)



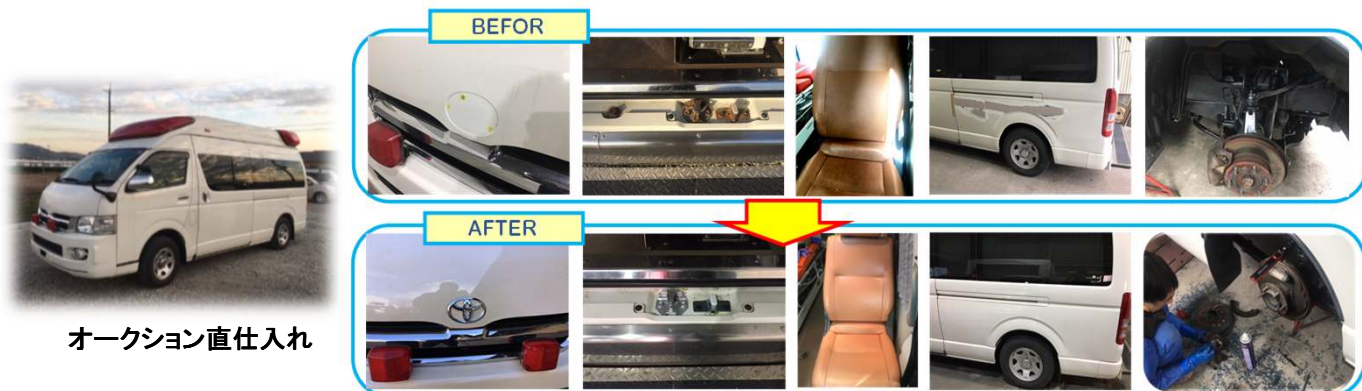
Before 91.3db(室内音)



After 68.5db(室内音)

中古救急車の販売（仕入れ・整備・追加架装共）

20210110



オークション直仕入れ



救急車が必要だが、どうしてもどうしても予算が無い。
…良くある話です。

そんなときの、最終手段になりますが、
弊社では、救急車の中古車販売も行っております。
今回も、かなり程度の良い車両でしたが、部品が欠品して
いたり、錆、凹み等がありました。



内装消毒、クリーニング、板金、分解整備、追加架装を
行った上で納車させて頂きました。

中古車販売は本業ではありません、お勧めの配備手段
ではありませんので、弊社に常時の在庫は在りません。
ご依頼都度の仕入れになります。
オークションにて直接仕入れてきますので、安価にご提供
することは可能です。

※ 弊社では、古物商許可（自動車商）を得ております。
高度管理医療機器販売業の許可も取得しておりますので、
酸素吸入装置等の医療機器が装備されたまま中古救急車の
販売が可能です。

医療機器追加工事

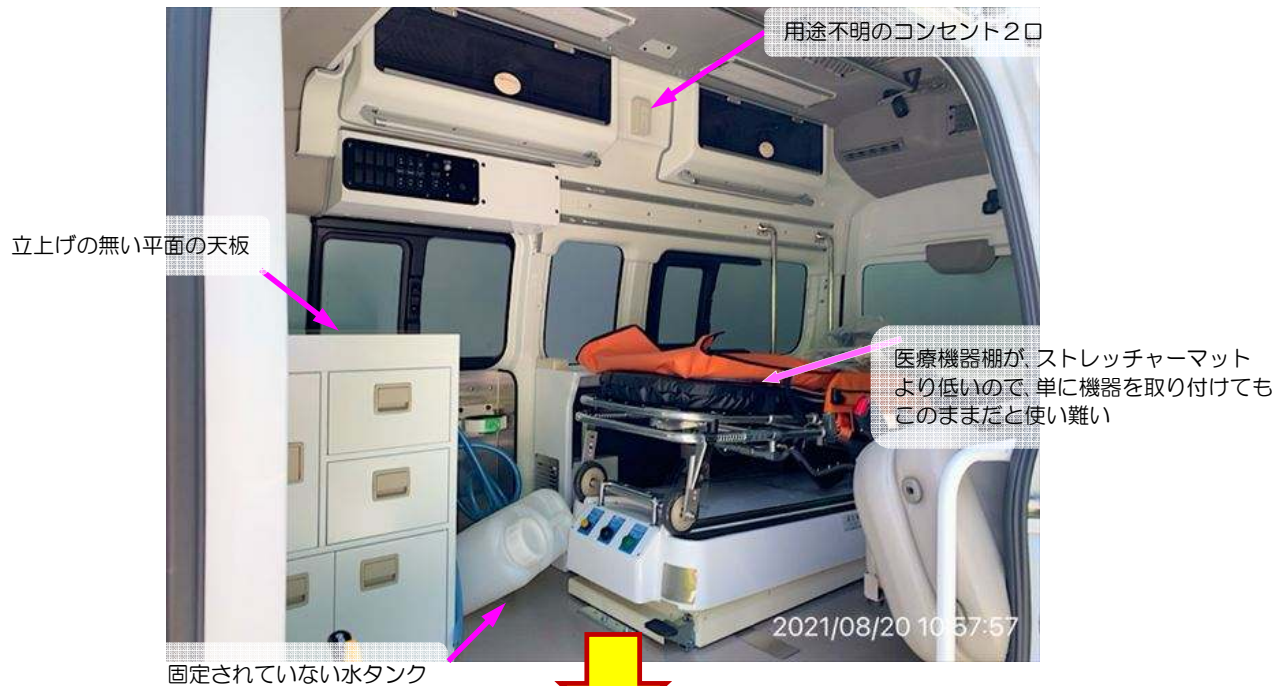


こちらは
内装に医療機器が装備されていない状態で、走れずにかわいそうな救急車。NV350 超ハイルーフ仕様です。

追加工事の相談を受け、即、対応させて頂きました。

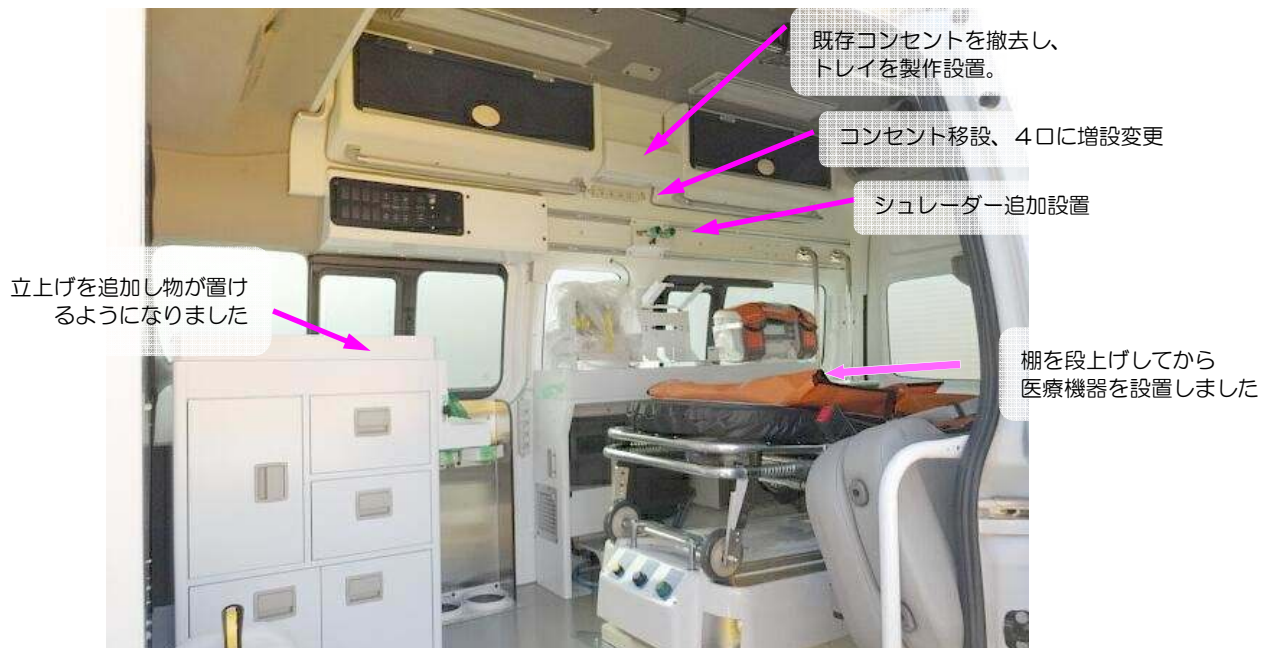
第一線で活躍できる仕様に追加工事を行いました。
相談から予算取り、完成まで2ヶ月のスピード対応でした。
内容詳細は下記↓

追加工事前の状態。



弊社追加工後

医療機器棚を段上げ加工してから、その上に医療機器を配置することで、機器の操作性を高めつつ、その他の細目も架装しました。



施工前

施工前の棚高さ



コンセントが2口
しか無かった

施工後



コンセントは4口に
増設変更

医療機器棚を段上げし、
使い勝手を向上

施工前



固定されていないタンク

施工後



吸引器棚は追加設置

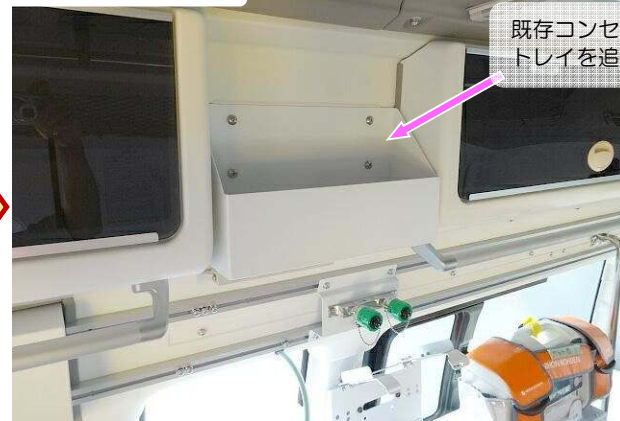
汎用ベルトを追加して固定

追加工事前

「こんなところに
なぜコンセントが？」



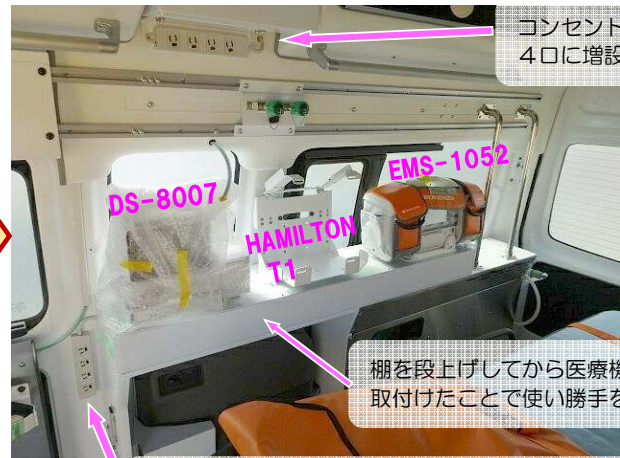
弊社追加工後



既存コンセントは下に移設し、
トレイを追加設置。



棚を占有していて、邪魔だったコンセント
2口



コンセント移設と同時に、
4口に増設変更

棚を段上げてから医療機器を
取付けたことで使い勝手を向上

コンセント移設と同時に、4口に増設変更

空気ポンベ追加工事



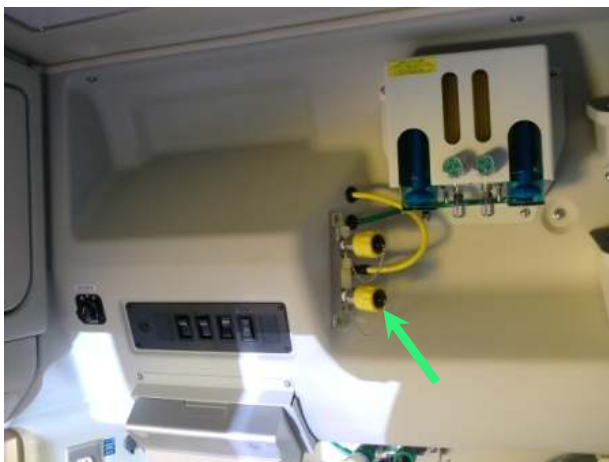
左記は、NICU搬送が多くなり空気ポンベを追加したいとのご要望から、運転席後部のスペース（下図）を利用して、10ℓ空気ポンベ×2本の取付金具を設置しました。



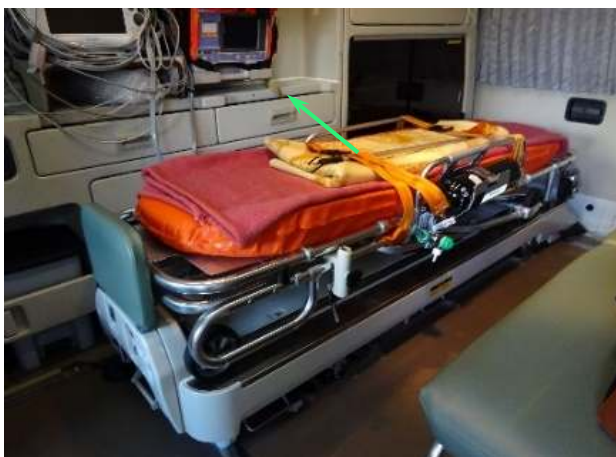
施工前の運転席後部



運転席後部のセパレーターに窓穴を開け、患者室側から操作が出来るようにしています。



空気のアウトレットは、酸素の流量計のそばに設置しました。



この車両の患者室を覗くと、

患者室の右壁面のビスに針金をグリグリに巻いてあり、何やら苦労している形跡がありました。

空気式防振架台に搬送用クベウスを載せると左右に揺れて赤ちゃんが動いてしまうんですね。きつと揺れを抑えるための物だったのでしょうか。



さりげなくアンカーボルトに交換しておきました。
NICUスタッフの方、気づいてもらえたかなぁ？

ヨークバルブからドイツバルブへの変更工事

消防様から救急車の払い下げを受けたものの、院内の酸素ボンベが収まらないとの相談。
案の定、酸素ボンベのバルブ形状違いでした。

ドイツバルブ用 減圧弁を装着出来るようにする。

(画像↓施工内容を説明に使ったイメージ図)



病院へお伺いして酸素ボンベカバーだけを外して持ち帰り、
ドイツバルブ仕様に改造しまして納品しました。

搬送用保育器用防振架台の修理



こちらの車両は、クベウス用架台のスライド機構が
壊れてしまい、使えていないとのこと。

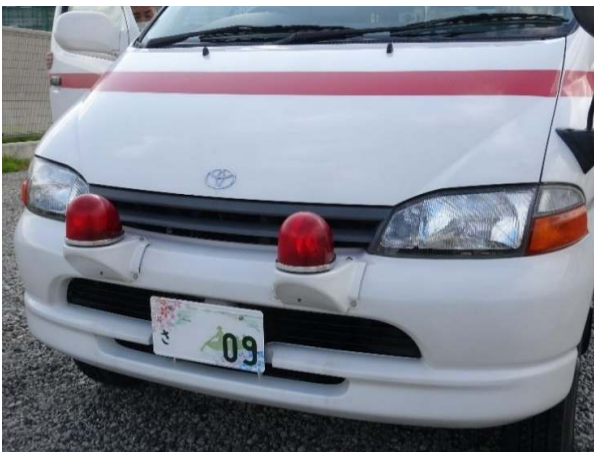
メーカーに修理依頼をしたものの、車が古いということで
修理を断られてしまい困っていたそうです。

その場で直せればと思い伺って診ると、アキュライド
レールがボロボロになっていたため、車両ごと工場入庫
しての修理となりました。

部品を照合交換し、現物合わせで無事に修理完了しました。



←ボロボロで動かなくなったアキュライドレール
現物からパーツを特定し、新品に交換しました。



洒落たご当地ナンバーを付けた、とても綺麗な救急車でした
これでまだまだ、活躍出来そうです。

(画像は加工してあります)

防振架台の換装



重体重患者搬送対応のため、
古い防振架台から新型防振架台VCS-03への換装事例。
<https://akao-co.com/products/3067/>
載せ替え作業よりも、床面の清掃に時間が掛かりました。



新型サイレンアンプへの換装



こちらの車両は、サイレンアンプ不調とのこと。

新品サイレンアンプの納品ついでに交換させて頂きました。

懐かしいSAP-500RBVZから、変換ハーネスを使って
新型のSAP-520RBに換装します。
ついでにマイクもSDM-10型になり操作性も向上しました。

修理ついでのアップデートになりました。



210606



AKAO 救急車 相談窓口
株式会社 赤尾・特需部 救急担当
東京都千代田区外神田6-13-13
03-3832-2204